

常磐緩行線 E 2 3 3 系車両の概要

【コンセプト】

故障に強い車両

(輸送障害の低減)

主要機器の二重系化

- ・1つが故障しても通常走行

人に優しい車両

(高齢者、女性、身障者などへの配慮)

ユニバーサルデザイン、バリアフリー

- ・優先席の荷棚の低下(120mm)、吊手高さの低下(50mm)
- ・優先席エリアの明確化
- ・床面高さの低下(ホーム段差 80mm, 100mm 30mm)
- ・つかみやすい握り棒形状
- 快適な空調、腰掛**
- ・全自動空調によるきめ細かな車内温度調整
- ・空気清浄機の設置
- ・腰掛幅の拡大(436mm 460mm)
- ・抗菌吊手

情報案内機能等を向上した車両

情報案内の充実

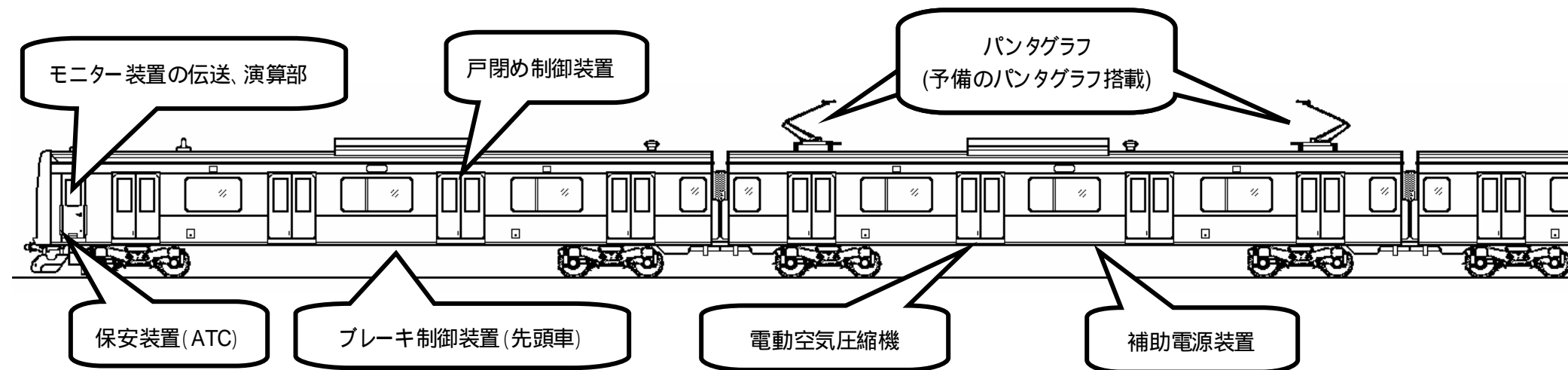
- ・車内:液晶画面による運行情報等の表示
- ・車外:フルカラー行先表示器

車体強度の向上

【諸元比較】

形式	E 233 系	207 系	203 系
制御方式	VVVF インバータ制御 (誘導電動機)	VVVF インバータ制御 (誘導電動機)	チョップパ制御 (直流電動機)
車体	ステンレス	ステンレス	アルミ
床面高さ	1130mm	1180mm	1200mm
記事		国鉄の VVVF インバータ制御試作車	201 系のアルミ車体化

【主要機器の二重系化】



【外 観(イメージ)】



【優先席部】



中央快速線・京浜東北線用 E233 系との違い

- 【東京メトロ千代田線乗り入れに対応】
- ・車体幅は千代田線の限界に合わせたストレート車体
- ・非常用前面貫通口の設置

【207系】



【203系】

